



Location Personas アプリによるタグの作成

Cisco Digital Network Architecture (DNA) Spaces では、タグを使用して顧客をグループ化できます。その後、エンゲージメントルールなどの Cisco DNA Spaces ルールでこれらのタグを使用できます。Cisco DNA Spaces では、Location Personas アプリを使用してタグを作成できます。また、Location Personas アプリを使用して、既存のタグに顧客を追加したり、既存のタグから特定の顧客を削除したりすることもできます。複数のタグの下に顧客をグループ化できます。

タグを作成するときに、既存のタグを使用して、選択したロケーションの顧客をフィルタリングできます。たとえば、ロケーション A とロケーション B のタグを作成するときに Android ユーザに限定したい場合、iOS のタグを削除するタグフィルタを使用できます。

- [ロケーションペルソナアプリを使用したタグの作成または変更 \(1 ページ\)](#)
- [使用例：ロケーションペルソナルール \(プロファイルルール\) \(4 ページ\)](#)
- [ロケーションペルソナルールの管理 \(7 ページ\)](#)
- [ロケーションペルソナルールレポート \(9 ページ\)](#)

ロケーションペルソナアプリを使用したタグの作成または変更

タグを作成、または顧客を既存のタグに含めるか除外するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Location Personas] をクリックします。

ステップ 2 表示される [Location Personas] ウィンドウで、[Create New Rule] をクリックします。

ステップ 3 [Rule Name] フィールドに、ロケーションペルソナ/プロファイルルールの名前を入力します。

ステップ 4 [When a user is on WiFi and] ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します。

- [Entering Location] : Wi-Fi に接続されている訪問者がロケーションに入ったときにタグを付けるには、このオプションを選択します。
- [Away from the Location] : Wi-Fi に接続されている訪問者が、指定された時間ロケーションを離れた場合にタグを付けるには、このオプションを選択します。このオプションを選択している場合、[For] ス

スクロールリストから、このルールに基づきタグ付けするために、訪問者がロケーションから離れている必要がある時間（分）を選択します。

- (注)
- [Exiting Location] オプションは使用できなくなりました。[Exiting Location] が設定されている既存の [Location Personas] を編集している場合、[Choose User Activity] ドロップダウンリストが、オプションが選択されていない状態で表示されます。ルールを正常に保存するには、[Choose User Activity] ドロップダウンリストから必要なオプションを選択する必要があります。
 - 訪問者がロケーションに物理的に存在していても、[For] スクロールリストで指定された分数の間 Wi-Fi から切断されていれば、訪問者はタグ付けの対象と見なされます。

- [Present at location] : Wi-Fi に接続されている訪問者が、指定した期間、または特定の時間に、ロケーションにいるとタグ付けされるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、追加のフィールドが表示され、顧客がフィルタ対象となるために満たすべき期間または時間を指定できます。

ステップ 5 [Location] 領域で、ルールに応じて顧客をフィルタリングするロケーションを指定します。

すべての顧客名、あるいは1つまたは複数のロケーション（グループ、キャンパス、ビルディング、フロア、ゾーンなど）を選択できます。CUWN と Cisco Meraki の両方のロケーションを追加できます。

選択したロケーション、またはその親や子のロケーションに定義されているメタデータに基づき、ロケーションを再度フィルタリングできます。特定のメタデータのロケーションを選択するか、または特定のメタデータのロケーションを除外することができます。プロファイルルールのロケーションの設定の詳細については、[ロケーションペルソナルールのロケーションフィルタ（6 ページ）](#)を参照してください。

ステップ 6 [Identify] エリアで、ルールでフィルタリングする顧客のタイプを指定します。

- (注) 顧客がオプトインユーザかどうか、顧客が属するタグ、顧客のアクセス回数、顧客のデバイスのアプリケーションの状態などに基づいて顧客をフィルタリングできます。これらのフィルタをすべて適用することも、要件に応じて一部を適用することもできます。

ルールに応じてフィルタリングする顧客を指定するには、次の手順を実行します。

- a) オプトインステータスにより顧客をフィルタリングする場合、[Filter by Opt-In Status] チェックボックスをオンにして、ルールでオプトインユーザーまたは非オプトインユーザーのどちらをフィルタリングするかを選択します。

- (注) オプトインユーザの詳細については、[ユーザーのオプトインオプション（6 ページ）](#)を参照してください。

- b) タグに基づいて顧客をフィルタリングするには、[Filter by Tags] チェックボックスをオンにします。

- (注) 既存のタグを含む、または除外することによって、顧客をフィルタリングできます。2つの異なる方法でタグをフィルタリングできます。ルールに応じて含める顧客の既存のタグ、またはルールに応じて除外する顧客の既存のタグを指定できます。要件に基づいて、最適なフィルタリング方法を選択できます。たとえば、1つのタグを除くすべての既存のタグの顧客を追加する場合、除外オプションを選択し、顧客を除外する特定のタグを指定する方法が簡単です。

タグ フィルタの使用の詳細については、[タグによるフィルタリング \(5 ページ\)](#) を参照してください。

- c) 選択したロケーションにおける顧客の訪問数に基づいて顧客をフィルタリングするには、[Filter by Previous Visits] チェックボックスをオンにします。

[Add Locations] ボタンをクリックします。[Choose Locations] ウィンドウで、顧客の訪問をフィルタリングの条件にする必要があるロケーションを指定します。次のフィールドで、ルールに応じてフィルタ対象となる顧客のアクセス数および時間を指定します。

- d) 顧客のアプリステータスに基づいて顧客をフィルタリングする場合は、[Filter by App Status] チェックボックスをオンにして、ルールでアプリユーザーまたは非アプリユーザーのどちらをフィルタリングするかを選択します。

ステップ 7 [Schedule] 領域で、顧客をフィルタリングするルールを適用する期間を指定します。

(注) 指定した期間で前述の条件を満たす顧客のみがルールに応じてフィルタリングされます。

- a) [Set a date range for the rule] チェックボックスをオンにし、表示されるフィールドで、プロファイルルールを適用する期間の開始日と終了日を指定します。
- b) [Set a time range for the rule] チェックボックスをオンにし、表示されるフィールドに、プロファイルルールを適用する時間範囲を指定します。
- c) 特定の曜日にだけルールを実行するには、[Filter by days of the week] チェックボックスをオンにし、表示される曜日のリストから、ルールを適用する曜日を選択します。

ステップ 8 [Action] 領域で、前述の条件に基づきフィルタリングされた顧客を含めるまたは除外することで新しいタグを作成するかどうかを指定します。

- a) [Add Tags] ボタンをクリックします。

- 既存のタグからフィルタリングされた顧客を追加または削除するには、フィルタリングされた顧客を含めるタグ、およびフィルタリングされた顧客を除外するタグを指定します。
 - 既存のタグにこのプロファイルルールに基づいてフィルタリングされた顧客を追加するには、顧客を追加するタグの [Add] ラジオ ボタンを選択します。
 - 既存のタグからこのプロファイルルールに基づいてフィルタリングされた顧客を削除するには、顧客を削除するタグの [Remove] ラジオ ボタンを選択します。

(注) [Choose Tags] ウィンドウで、[Search] オプションを使用してタグを検索できます。選択したタグはウィンドウの右側に表示されます。

- ルールの新しいタグを作成する場合は、[Create New Tag] ボタンをクリックします。表示された [Enter the tag name] フィールドにタグの名前を入力し、[Add] をクリックします。新しく作成されたタグがタグリストに表示されます。タグからフィルタリングされた顧客を含めるか除外するかを選択します。

- b) [完了 (Done)] をクリックします。

(注) プロファイルルールを使用して、フィルタリングされた顧客を含む、または除外するタグを作成する、または同様に、フィルタリングされた顧客を含む、または除外することで既存のタグを変更できます。ルールに対して複数のタグを作成することもできます。

(注) ルールの概要がページの右側に表示されます。

ステップ9 [Save and Publish] をクリックします。

ルールは [Profile Rules] ページにパブリッシュされ、リストされます。

(注) ルールを今すぐパブリッシュしたくない場合、[Save] ボタンをクリックします。[Save and Publish] ボタンをクリックすることで、後でいつでもルールをパブリッシュできます。また、[Location Personas] ウィンドウの右側にある [Make Rule Live] アイコンをクリックして、プロフィールルールをパブリッシュすることもできます。

使用例：ロケーションパーソナルルール（プロフィールルール）

ABC ホテルグループは25周年記念の一環として、プラチナメンバーに特別なギフトを提供したいと考えています。ABC はロケーション A またはロケーション C のホテルを過去2年間で少なくとも10回訪れた顧客をプラチナメンバーと見なします。WiFi に少なくとも45分間接続したすべての訪問者を顧客とみなします。ABC はプラチナメンバー用のタグを作成する必要があります。現在の月末までに前述の条件を満たすオプトイン顧客がタグに追加されます。

上記のシナリオの条件を満たすには、次の手順を実行します。

ステップ1 Cisco DNA Spaces にログインします。

ステップ2 ABC のすべてのロケーションを含むロケーション階層を作成します。

ステップ3 Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Location Personas] をクリックします。

ステップ4 表示される [Location Personas] ウィンドウで、[Create New Rule] をクリックします。

ステップ5 [Rule Name] フィールドに、プロフィールルールの名前を入力します。

ステップ6 [When a user is on WiFi and] ドロップダウンリストから、[Present at Location] を選択し、表示されるドロップダウンリストから、[45 Minutes] を選択します。

ステップ7 [Locations] エリアで、[Add Locations] ボタンをクリックし、[Location A]、[Location C] を選択します。

ステップ8 [Identify] エリアで、以下を実行します。

- [Filter by Opt-In Status] チェックボックスをオンにし、[Only for opted-in Visitor] を選択します。
- [Filter by Previous Visits] チェックボックスをオンにし、[Add Locations] ボタンをクリックして、[Location A]、[Location C] を追加します。
- 次のフィールドで、[At least]、[10 回]、[Date Range] をそれぞれ選択します。
- 日付範囲のフィールドに、過去2年間の開始日と終了日を入力します。

ステップ9 [Schedule] エリアで、[Set a date range for the rule] チェックボックスをオンにし、開始日に現在の日付を、終了日に今月の最終日を指定します。

ステップ10 [Actions] 領域で、以下を実行します。

- a) [Add Tags] ボタンをクリックします。
- b) [Create Tags] ウィンドウで、[Create New Tag] をクリックします。
- c) [Enter the tag name] フィールドに「Platinum1」と入力し、[Add] をクリックします。タグリストで「Platinum1」の [Include] ラジオボタンをクリックし、[Done] をクリックします。

ステップ 11 [Save and Publish] をクリックします。

プロファイルルールがパブリッシュされます。

タグによるフィルタリング

フィルタリング用にタグを含む、または除外することを選択できます。

タグを含める

タグを含めるには、次の手順を実行します。

ステップ 1 プロキシミティルール（キャプティブポータルルール、エンゲージメントルール、プロファイルルール）の [Filter by Tags] エリアで、[Include] の [Add Tags] ボタンをクリックします。

ステップ 2 [Choose Tags] ウィンドウで、追加するタグの [Include] オプションボタンをクリックします。

ステップ 3 [Done] をクリックします。

タグの除外

タグを除外するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 プロキシミティルール（キャプティブポータルルール、エンゲージメントルール、プロファイルルール）の [Filter by Tags] エリアで、[Exclude] の [Add Tags] ボタンをクリックします。

ステップ 2 [Choose Tags] ウィンドウで、除外するタグの [Exclude] オプションボタンをクリックします。

ステップ 3 [Done] をクリックします。

タグの検索

タグを検索するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 新しいルールを作成するウィンドウの [Filter by Tags] エリアで、含める、または除外するために [Add Tags] ボタンをクリックします。

ステップ 2 [Choose Tags] ウィンドウに、検索するタグの名前を入力します。

タグのリストが検索結果でフィルタリングされます。

タグのクリア

タグの [Include] または [Exclude] オプションボタンを選択した場合、そのタグの **Clear Selection** オプションを使用して、選択内容をクリアすることができます。

ユーザーのオプトインオプション

Cisco DNA Spaces では、顧客が通知サブスクリプションからオプトアウトできるオプションをキャプティブポータルで提供できます。

ポータルで、[Allow users to opt in to receive message] チェックボックスをオンにして、サブスクリプションに登録するかどうかを選択するオプションを顧客に提供します。[Allow users to opt in to receive message] オプションは、認証タイプ [SMS with password verification] または [Email] で使用できます。

デフォルトでは、顧客はサブスクリプションにオプトインされています。顧客はキャプティブポータルにアクセスするときに、サブスクリプションからオプトアウトできます。顧客が SSID に接続することでキャプティブポータルにアクセスすると、オプトインのチェックボックスが顧客に表示されます。

ロケーションペルソナルールのロケーションフィルタ

ロケーションを指定するには、次の手順を実行します。

1. [Add Locations] ボタンをクリックします。
2. 表示される [Choose Location] ウィンドウで、プロフィールルールのロケーションを選択します。
3. [OK] をクリックします。

ロケーションに定義されているメタデータを使用して、ロケーションを再度フィルタリングできます。選択したロケーション、その親および子のロケーションに定義されているメタデータのみを選択できます。

特定のメタデータのロケーションを含めるには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Filter by Metadata] チェックボックスをオンにします。

ステップ 2 [Filter] 領域で、[Add Metadata] ボタンをクリックします。

[Choose Location Metadata] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウンリストから、メタデータの変数を選択し、隣接フィールドに変数の値を選択します。

ステップ4 [完了 (Done)]をクリックします。

特定のメタデータのロケーションを除外するには、次の手順を実行します。

ステップ1 [Filter by Metadata] チェックボックスをオンにします。

ステップ2 [Exclude] 領域で、[Add Metadata] ボタンをクリックします。

[Choose Location Metadata] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 ドロップダウン リストから、メタデータの変数を選択し、隣接フィールドに変数の値を選択します。

ステップ4 [OK] をクリックします。

ロケーションパーソナルールの管理

必要な場合はいつでも、ロケーションパーソナ (プロフィール) ルールを一時停止したり、再度有効にしたりできます。必要に応じてロケーションパーソナルールを変更し、削除することができます。ロケーション要素に固有のロケーションパーソナルールを作成し、ロケーション階層から表示できます。

ロケーションパーソナルールの一時停止

ロケーションパーソナルールを一時停止するには、次の手順を実行します。

ステップ1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Location Personas] をクリックします。

表示される [Location Personas] ウィンドウに、既存のすべてのロケーションパーソナルールが示されます。

ステップ2 一時停止するロケーションパーソナルールの右端に表示される [Pause Rule] アイコンをクリックします。

ロケーションパーソナルールが一時停止されます。

次のタスク



(注) 複数のロケーションパーソナルールを一時停止するには、一時停止するロケーションパーソナルールのチェックボックスをオンにし、ウィンドウの下部に表示される [Pause] ボタンをクリックします。

ロケーションパーソナルールの再開

ロケーションパーソナルールを再開するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Location Personas] をクリックします。
- 表示される [Location Personas] ウィンドウに、既存のすべてのロケーションパーソナルールが示されます。
- ステップ 2** 再開するロケーションパーソナルールの右端に表示される [Make Rule Live] アイコンをクリックします。
- ロケーションパーソナルールが再開されます。

次のタスク



- (注) 複数のロケーションパーソナルールを再開するには、再開するロケーションパーソナルールのチェックボックスをオンにし、ウィンドウの下部に表示される [Make Live] ボタンをクリックします。

ロケーションパーソナルールの変更

ロケーションパーソナルールを変更するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Location Personas] をクリックします。
- 表示される [Location Personas] ウィンドウに、既存のすべてのロケーションパーソナルールが示されます。
- ステップ 2** 変更するロケーションパーソナルールの [Edit Rule] アイコンをクリックします。
- ステップ 3** 必要な変更を加えます。
- ステップ 4** 変更を保存するには、[Save] をクリックします。または変更をパブリッシュするには、[Save and Publish] をクリックします。
- (注) ライブルールに表示されるのは [Save and Publish] オプションのみです。[Save and Publish] ボタンをクリックすると、変更を反映したルールがパブリッシュされます。

ロケーションパーソナルールの削除

ロケーションパーソナルールを削除するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Location Personas] をクリックします。

表示される [Location Personas] ウィンドウに、既存のすべてのロケーションパーソナルルールが表示されます。

ステップ 2 削除するロケーションパーソナルルールの右端に表示される [Delete Rule] アイコンをクリックします。

次のタスク



(注) 複数のロケーションパーソナルルールを削除するには、削除するロケーションパーソナルルールのチェックボックスをオンにし、ウィンドウの下部に表示される [Delete] ボタンをクリックします。

ロケーションに対するロケーションパーソナルルールの表示

グループ、ビルディング、フロアなどのロケーションのロケーションパーソナルルールを表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードの左上にある 3 本線のメニューアイコンをクリックします。

ステップ 2 [Location Hierarchy] を選択します。

[Location] ウィンドウがロケーション階層とともに表示されます。

ステップ 3 ロケーションパーソナルルールを表示するロケーションをクリックします。

ステップ 4 [Rules] タブをクリックします。

ステップ 5 [Profile Rule] タブをクリックします。

ロケーションのロケーションパーソナルルールが一覧表示されます。

次のタスク



(注) ロケーション階層の各ロケーションに表示される [Rules] リンクをクリックして、[Rules] タブにアクセスすることもできます。ロケーションの [Rules] リンクは、そのロケーションに少なくとも 1 つのプロキシミティルールが存在する場合にのみ有効になります。

ロケーションパーソナルルールレポート

ロケーションパーソナルルールレポートには、ロケーションパーソナルルールのパフォーマンスが表示されます。これはロケーションパーソナルルールに固有です。

ロケーションパーソナルールのロケーションペルソナ（プロファイル）ルールレポートを表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Location Personas] をクリックします。

表示される [Location Personas] ウィンドウに、既存のすべてのロケーションパーソナルールが示されます。

ステップ 2 ロケーションパーソナルールレポートを作成するルールをクリックします。

ステップ 3 [Filter] 領域で、レポートを表示する期間を選択します。

- [Total Devices Tagged] : ロケーションパーソナルールが作成された日以降の、ロケーションパーソナルールにタグ付けされたデバイスの総数。
- [Total Users Tagged] : ロケーションパーソナルールが作成された日以降の、ロケーションパーソナルールにタグ付けされた訪問者の総数。
- [Total Tags Removed] : ロケーションパーソナルールが作成された日以降の、ロケーションパーソナルールで指定したタグから削除された訪問者の総数。

ルールアクティビティ

このセクションには、指定した期間中に特定のロケーションパーソナルールに基づいてタグ付けされた顧客とデバイスの数が表示されます。

- [Tagging Trends] : 指定した期間中に特定のルールでタグ付けされたデバイスと顧客の総数を表示します。特定のロケーションパーソナルールに基づいて、顧客がタグから削除した数も表示されます。折れ線グラフは、指定した期間の各日に追加または削除されたタグの総数を表します。指定した期間が1週間未満の場合、データは棒グラフで表示されます。指定した期間が2日以内の場合、グラフには、毎日のさまざまなタイミングでタグ付けされた顧客の数が表示されます。
- [Tags Added] : ルールで作成されたタグの総数を表示します。
- [Device Tags added by Location] : 指定した期間中に各ロケーションからタグ付けされたデバイスの数を表示します。
- [Tags Removed by Location] : このセクションは、特定のタグからフィルタリングされたデバイスを削除するようにロケーションパーソナルールで指定されている場合にのみ表示されます。特定の期間中に特定のロケーションパーソナルールに基づいて、各ロケーションからタグ付けされていないデバイスの総数が表示されます。
- [Tagging by Time of Day] : この棒グラフには、指定した期間中の1日のさまざまなタイミングで、ロケーションパーソナルールに基づいてさまざまなタグに追加された顧客の数が表示されます。これは、このルールの対象となる顧客が対象のロケーションを最も多く訪問した時間を特定するのに役立ちます。